

商業の視点で地域の課題を解決する！！

～ジビエ（猪肉）を活用した商品開発～

県立鹿本商工高等学校 課題研究 お土産プロジェクト班

1 本校の商品開発の取組

本校では、これまでに地元山鹿を題材とした商品開発を行ってきました。昨年度は、フェアトレードを多くの人に、知ってもらうために地元の洋菓子店に協力をいただき、地元の米粉、フェアトレードのチョコレートを使用したショコラを開発しました。山鹿の美味しいお菓子として広まりつつあります。

2 ジビエ（猪肉）を活用した商品開発

今年度は、商業科6人、情報管理科2人の8人で商品開発に取り組んでいます。今年のテーマは、「商業の視点から地域の課題を解決する」です。授業で地元山鹿について調べ、山鹿の鳥獣による農作物の被害に大きさに注目しました。そこで捕獲された猪肉を使用した商品開発（肉味噌）を行うことで、地域の課題（農作物の被害の減少）解決を目指しました。

3 商品開発の実際

商品開発は、地域の方からの多くの支援をいただきながら進めています。



マックスパリュ九州株式会社



くまもとジビエ研究会様



ショッピングセンター
「Rio」様



卑弥呼醫院 様

4 販売と研究成果の発表

本校で行われた商工フェスタで試作した肉味噌を使い、おにぎりの販売を行いました。当日は用意した50個完売することができました。また、山鹿市で行われた山鹿市青少年健全育成大会においてこれまでの実践をまとめ発表することができました。



商工フェスタでの販売の様子



山鹿市青少年健全育成大会での発表